

# 私たちの町議会 りくべっ

No. 103

発行月日・令和3年2月19日  
編集・議会運営委員会  
発行・北海道陸別町議会

## 12月定例会

陸別町議会12月定例会は、12月8日から9日まで、2日間開かれました。今定例会では、規約の変更1件、条例案2件、その他1件、補正予算案7件、意見書案2件を可決し、閉会しました。

## 議会議員及び町長 選挙運動費用が公費負担へ

地方議会議員のなり手不足の深刻化に伴い、町村の選挙における立候補の環境を改善するため、町村議会議員選挙にビラ頒布の解禁及び供託金制度を導入することを目的とした、公職選挙法の一部が改正されました。この公職選挙法の改正に伴い、陸別町議会議員及び陸別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例が提案され、審議・採決の結果、全員賛成で可決しました。



### ● 主な内容

町村議会議員選挙における供託金制度の導入	15万円	得票数が有効投票総数を議員定数で除して得た数の十分の一に達しない時は、供託物没収となる。
選挙運動用自動車の使用	選挙運動用自動車の使用について無料とすることができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>一般運送契約の場合 ハイヤー方式 1日 64,500円 × 5日</li><li>個別契約方式 自動車の借入 1日 15,800円 × 5日 燃料代 1日 7,560円 × 5日 運転手の雇用 1日 12,500円 × 5日</li></ul>
選挙運動用ビラの作成	定める金額の範囲内で、ビラを無料で作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>町長 5,000枚 × 7.51円 = 37,550円</li><li>議員 1,600枚 × 7.51円 = 12,016円</li></ul>
選挙運動用ポスターの作成	定める金額の範囲内で、ポスターを無料で作成することができる。	ポスター掲示場の数16か所 × 2 = 32枚 × 5,500円 = 176,000円

# 一般質問

12月定例会では4人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

## 総合防災訓練を終えて

久保 広幸 議員

**Q** 去る10月6日、3年毎に実施されている総合防災訓練が、新型コロナウイルス感染症防止の観点を含めて、避難所の開設訓練を中心に行われた。

避難所の運営スタッフの確保が課題となる中、かねて自主防災組織の設立に言及されていたが、それを避難所の運営にも携わって貰えるようにするべきではないか。

(野尻町長)

**A** 自主防災組織については、未だ設立には至っていないが、設立に向けた検討を進めなければならぬと思うている。なお、避難所の運営に関しては、自治会やボランティア団体の協力を得る必要があると考えている。



## 縮小化社会のまちづくり

**Q** 人口減少に伴う社会全般にわたる規模の縮小化をだれもが実感している状況下で、この度の新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛がこれに拍車を掛けている。最初に現時点で想定される地域の課題の中から伺う。地域包括ケアシステムの構築について、この事業の対象者にはどのような方を想定しているのか。

(町長)

**A** 地域包括ケアシステムの推進機関は地域包括支援センターで、対象者はおおむね65歳以上であるが、まちづくりとしての地域包括ケアシステムとして捉え、障がい者や生活困窮者も含めた広い視野で考えられている。

**Q** 地域包括ケアシステムのそもそもの目的は、支援の制度の網目からこぼれてしまう方々を救うことにあると思うている。その様に考えると、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所ともに、それぞれ町内唯一の事業所として町が設置しているのであるから継続的ケアマネジメントには支障がなく、より重度の介護が必要な状態になってもサービスが途切れることなく暮らし続けることができると思うが、如何か。

(町長)

**A** 包括的・継続的なケア構築のために在宅、施設を通じた関係機関との連携体制の構築を重視し、本人及び家族が納得できるケアマネジメントが大前提と考えている。

## 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新生活様式の取り組みについて

**Q** 自らを感染から守るだけでなく、自らが

周囲に感染を拡大させないことが不可欠とされている状況下ではあっても、地方創生を掲げて進んで行かなければ、違った形で人々が地域から去って行くことに成りかねない。懸案のイベント等開催の考えを伺う。

(町長)

**A** 感染が拡大している状況下では、人の集まるイベントを開催することは大変難しい。感染が一定程度鎮静化した時には、感染防止の新たなスタイルを取り入れながら再開できる様、準備を進めたい。

**Q** 外国人技能実習生等の入国対応など、町内事業所の担い手対策を伺う。

(町長)

**A** 道の海外人材待機費用緊急補助金については、福祉関係で2名の申請が検討されているが、町としては、コロナ対策による新たな支援は考えていない。



# ここが聞きたい



## 高齢化社会の福祉の充実について

渡辺 三義 議員

### 高齢者の住みやすい町づくりとは

**Q** 日本の高齢化が進む中、国民の約4割の方が手助けを必要とし、同時に社会福祉への依存率も高くなっている。そうした中で、当町の高齢者が安心して暮らせる町づくりについて、どのように思われているのか。

(野尻町長)

**A** 町民からの各種アンケート等をまとめると、商業施設の充実、交通の利便性、医療・介護福祉の充実、趣味のサークル及び地域活動ができること等の意見が寄せられている。少しでもその声に近づけられるように、高齢者に優しい町づくりを進めていきたい。



### 高齢者世帯の見守り対策は

**Q** 当町の人口は減少し、高齢者の一人暮らし世帯も増え、認知症やひきこもりによる孤独死が目立つ傾向にある。当町の高齢者世帯の見守りや巡回対策はどうなっているのか。

(町長)

**A** 独居高齢者宅などを訪問し、生活状況の把握を行い、地域包括支援センターが、社会福祉協議会や民生委員協議会と定例で情報交換を行い見守りを継続している。また、社会福祉協議会が実施主体となる電話サービス等の事業を通して、安否確認や見守りを行っている。

### からまつハウスと福寿荘の入居条件の緩和を

**Q** からまつハウスと福寿荘の現在の状況と、空き室が長く続く場合は、入居要件の見直しを行う考えはないか。

(町長)

**A** からまつハウスは、現在4室の空き室が出ているが、今月一人入居する。福寿荘は現在2室の空き室があり、今後募集を行う予定。

入居要件については、福寿荘は現状のままとするが、からまつハウスは、供用開始当時から状況が大きく変わったこともあり、緩和に向けて現在検討している。

### 農村部に住む高齢者へタクシー助成の拡大を

**Q** 既存の高齢者等交通費助成事業を、農村部に住む70歳以上の高齢者を対象として、拡大する考えはないか。

(町長)

**A** 当町の地域交通全体で考えていかなければならないと思っており各関係機関等との協議が必要に

なると考えている。



▲ コミバスで買い物へ

### 交通事故防止対策への支援を

**Q** 交通事故防止対策の一環として、70歳以上の高齢者ドライバーを対象とした、新車購入時の自動ブレーキ装置費及び急発進抑制装置費の一部を助成する考えはないか。

(町長)

**A** 交通安全への意識の浸透や車の安全機能向上などにより、事故も減少傾向にあるが、事故が起きる前に免許証の返納も考えていきたいと思います。

装置費の一部助成は、現在検討していないが、当町の地域交通全体の方を含めて、調査・検討していきたい。

## これからの酪農振興策を問う

多胡 裕司 議員

### 馬の振興策による

#### 町づくりを

**Q** 当町の馬に関わる技術は脈々と今の世代にも受け継がれ、陸別の歴史と文化を育んできた。今後は、陸別町をばん馬の産地として形成し、町外から人材を受け入れて、人口減少対策及び新規事業の発掘につなげていくことが必要であると思うが、町長の見解を伺う。

(野尻町長)

**A** 陸別町と馬の関係については、関寛斎が入植した当時から今日まで歴史と文化を継承してきた。

ばん馬の産地にする。



▲馬とのふれあい学習 (小学5年生)

については、馬産振興協議会等の方々から、内情を十分に聞きとりしながら、調査していきたい。

### 馬産事業へ

#### 新たな支援を

**Q** 馬産振興協議会の協力により、今年も小学校5年生を対象とした「馬とのふれあい学習」が実施されている。しかし、今後、協議会自体の存続が危ぶま

れ、馬を飼うにも資金面で非常に大変であることから、馬産事業に対して新たな支援をする考えはないか。

(町長)

**A** 「馬とのふれあい学習」への協力は感謝しているが、今のところ新たな支援は考えていない。ただし、優良家畜導入支援事業の個体導入としての支援は行っている。今後馬産振興協議会から意見を聞き、検討していきたい。

### 5年後の農地問題

#### への対策を

**Q** 現在42戸の酪農家が存在しているが、5年後を推測した時、約30戸程度になると思われる。特に、農地については、約1千haが余剰になる可能性があるため、今後の農地問題についてどう考えているのか。

(町長)

**A** 当町の搾乳農家戸数の減少が続いており、農業者の高齢化も進んでいる。よって、早期に担い手

を確保し、育成していくことが重要である。特に、東京、大阪等で開催される、新農業人フェア等へ定期的に参加して、新規就農者を確保する機会を増やしていきたい。

### 農業者研修施設を

#### 建設すべき

**Q** 標茶町農業研修センター、新得町立レディーファームスクール等の施設を当町にも建設することで、陸別町の人材を陸別町で育てることが可能となる。また、新規就農及び雇用の確保も図られるため、研修施設は必要であると思うが、町長の見解を伺う。

(町長)

**A** 後継者対策や新規就農対策は重要な問題と捉えているが、研修者のニーズが多様化していることもあり、現時点で研修施設を造ることは考えていない。しかし、研修生の多様な要望には対応していきたいと思っている。

# コロナ禍での

## 感染対策の考えを伺う

谷 郁司 議員

**Q** 十勝管内でも毎日のように、新型コロナウイルスの感染者に係る報道がされている。そうした状況において、当町の新型コロナウイルス検査の実態について伺う。

**A** 11月までにPCR検査は4件行い、全て陰性であった。また、11月からの診療所内の発熱外来設置以降は、イフルエンザ検査及び新型コロナウイルスの抗原検査の両方を20件程度行ったが、全て陰性であった。

**Q** コロナ感染の初期判断となる発熱(37.5度以上)を知るためにも、検温機能付デジタルサイネージを道の駅等へ設置すべきでないか。また、町内各事業所における、検温機器等

の設置状況は把握しているか。

(町長)

**A** 役場においては、町内企業者からの寄付があり、庁舎入口と保健センター入口に設置した。小学校、中学校においては、これから設置する予定で、町内事業所の設置状況については把握していない。

道の駅への設置については、多数の人が出入りする所でもあるため、今後考えていかなければならないと思っている。

**Q** PCR検査を、高齢者施設、障がい者施設

の入所者と従事者全員に実施を促していく考えはないか。

(町長)

**A** PCR検査は、発熱や症状、疑いのある方が医師の判断で受けるべきであり、それ以外の方の検査実施は考えていない。それよりも、普段からの感染予防の体制づくりが大切であると思っている。

**Q** 保育所や各学校において、手洗いの蛇口を自動化していく必要があるのではないか。

(有田教育長)

**A** 小学校のトイレ9ヶ所中、8ヶ所、中学校は、トイレ18ヶ所中、2ヶ所が自動になっている。今後は、町内業者のご厚意により、一部を除き小学校で20ヶ所、中学校で30ヶ所をレバー式に交換する。

(町長)

**A** 保育所は、ハンドル式であるが、将来的にはシングルレバー式に変えていく。自動化にすること

は、考えていない。

**Q** 酪農従事者が新型コロナウイルスに感染した場合の支援対策は、どのようになっているのか。

(町長)

**A** 陸別町酪農ヘルパー有限責任事業組合や道の発生農場酪農経営継続支援対策事業によって、必要とする人員の派遣等が受けられることになっている。様々な状況が想定されるが、関係機関と連携して、有利な制度を選択していきたいと考えている。

**Q** 今後予定されている、新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金の活用方法として、各家庭へゴミ袋の配布、灯油代、電気代、水道代等への支援策に使っていく考えはないか。

(町長)

**A** 現時点においては、個別の支援は検討していないが、今後の推移を見ながら、各関係機関等からの要望を踏まえて判断していきたい。

▶ 検温と手指消毒を行い役場内へ



## 条例・その他の審議結果

件名	審議結果
<b>第2回臨時会（11/30）</b> ● 財産の取得について（医療機器） ● 固定資産評価審査委員会委員の選任について ● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ● 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決 可決 可決 可決
<b>12月定例会（12/8～12/9）</b> ● 十勝圏複合事務組合理約の変更について ● 租税特別措置法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例 ● 陸別町議会議員及び陸別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 ● 交通事故（損害賠償）に係る和解について	可決 可決 可決 可決

## 令和2年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	△ 5,005万円	54億 6,185万円	
特別会計	国保事業勘定	2,566万円	4億 3,497万円
	国保直診施設勘定	30万円	3億 4,999万円
	簡易水道事業	△ 173万円	1億 8,124万円
	公共下水道事業	△ 1,466万円	1億 3,729万円
	介護保険事業勘定	3,105万円	3億 5,153万円
	後期高齢者医療	△ 54万円	4,941万円

### 委員の任命

固定資産評価審査委員会委員に、共栄第2の佐藤秀昭さん（新任）を任命することに同意しました。

### 議会の動き

【11月】  
30日 議会運営委員会 第2回臨時会

【12月】

4日 議会運営委員会  
8日 12月定例会  
9日 12月定例会  
9日 議会運営委員会  
9日 議員協議会  
9日 議会運営委員会  
9日 議会運営委員会  
9日 産業常任委員会  
9日 総務常任委員会

【1月】

18日 議会運営委員会  
（広報編集会議）



### 可決した意見書

● 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への還元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

● 地方財政の充実・強化を求める意見書

次回の定例会は3月に開催されます。  
詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



### 陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】  
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>